

## いじめに関する実態等調査（中間報告）概要

調査結果については、最終報告に向け、現在分析中

### 1 調査の目的

本調査は、いじめの実態や児童生徒及び教員のいじめに対する考え方等を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見・早期対応に役立てることを目的としている。

### 2 調査対象と回収率（札幌市を除く。）

		小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
	学校数	1,138校	588校	308校	56校	2,090校
児童生徒	配付数	194,384人	103,312人	115,968人	4,102人	417,766人
	回収数	152,749人	69,736人	85,290人	2,488人	310,263人
	回収率	78.6%	67.5%	73.5%	60.7%	74.3%
教員	配付数	13,377人	8,694人	9,340人	2,802人	34,213人
	回収数	8,499人	5,572人	7,535人	1,626人	23,232人
	回収率	63.5%	64.1%	80.7%	58.0%	67.9%

### 3 調査結果

#### (1) 児童生徒

調査項目1「どのようなことをいじめとご感想ですか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	仲間はずれにすること (80.9%)	仲間はずれにすること (77.5%)	仲間はずれにすること (68.6%)	暴力をふるうこと (71.2%)
2	暴力をふるうこと (75.8%)	暴力をふるうこと (70.4%)	暴力をふるうこと (67.2%)	仲間はずれにすること (68.1%)
3	悪口を言うこと (74.9%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (70.2%)	持ち物をかくすこと (63.3%)	悪口を言うこと (62.4%)
4	持ち物をかくすこと (71.1%)	持ち物をかくすこと (67.6%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (63.1%)	持ち物をかくすこと (60.8%)
5	人がやりたくないことをさせること (69.2%)	無視をすること (60.8%)	無視をすること (56.3%)	無視をすること (59.2%)
6	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (67.5%)	悪口を言うこと (58.0%)	人がやりたくないことをさせること (48.9%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (56.5%)
7	無視をすること (60.6%)	人がやりたくないことをさせること (57.9%)	悪口を言うこと (46.5%)	人がやりたくないことをさせること (52.9%)
8	冷やかし・からかいをすること (54.2%)	冷やかし・からかいをすること (41.8%)	冷やかし・からかいをすること (37.2%)	冷やかし・からかいをすること (44.2%)
9	わざとおせっかいや親切を押しつけること (36.9%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (31.4%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (19.7%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (29.9%)
	その他 (16.8%)	その他 (10.5%)	その他 (22.5%)	その他 (8.5%)

「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中

・「どのようなことをいじめとご感想ですか」については、すべての校種において、「仲間はずれにすること」「暴力をふるうこと」「持ち物をかくすこと」という回答が上位を占めている。

・すべての校種において、「心を傷つける内容の電子メールなどを送ること」をいじめと認識している児童生徒が5割を超えており、インターネットや電子メールなどITを使ったいじめの広がりも見られる。

調査項目2「今年の4月から今日まで、いじめられたことがありますか」について  
【「ある」と回答した児童生徒】

小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
42,265人	10,680人	5,532人	187人	58,664人
27.7%	15.3%	6.5%	7.5%	18.9%

- ・いじめられた経験のある児童生徒が、全体の2割弱を占める。
- ・校種が上がるにつれて、「いじめられたことがある」という回答が減少している。

調査項目3「どないじめをされましたか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	悪口を言われた (61.2%)	悪口を言われた (61.8%)	悪口を言われた (67.0%)	悪口を言われた (49.2%)
2	暴力をふるわれた (40.8%)	仲間はずれにされた (39.8%)	冷やかされた・からかわれた (44.9%)	仲間はずれにされた (31.0%)
3	仲間はずれにされた (38.0%)	無視をされた (33.8%)	仲間はずれにされた (43.8%)	冷やかされた・からかわれた (28.9%)
4	冷やかされた・からかわれた (29.3%)	冷やかされた・からかわれた (30.5%)	無視をされた (38.0%)	無視をされた (27.3%)
5	無視をされた (27.8%)	暴力をふるわれた (19.9%)	暴力をふるわれた (25.4%)	暴力をふるわれた (26.7%)
6	人がやりたくないことをさせられた (22.8%)	人がやりたくないことをさせられた (17.0%)	持ち物をかくされた (23.8%)	人がやりたくないことをさせられた (20.3%)
7	持ち物をかくされた (18.8%)	持ち物をかくされた (16.7%)	人がやりたくないことをさせられた (20.0%)	持ち物をかくされた (18.7%)
8	わざとおせっかいや親切の押しつけをされた (8.9%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (10.8%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (20.0%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをされた (13.0%)
9	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (4.5%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをされた (9.7%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをされた (14.2%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (11.9%)
	その他 (23.4%)	その他 (39.6%)	その他 (21.4%)	その他 (28.3%)

- 1:「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
2:調査項目2で「ある」と回答した児童生徒数に対する割合

- ・「どないじめをされましたか」については、すべての校種において、「悪口を言われた」という回答が最も多い。
- ・また、「仲間はずれにされた」「冷やかされた・からかわれた」という回答も上位を占めている
- ・小学校においては、「暴力をふるわれた」という回答が他校種に比べて多い。

調査項目4「だれにいじめられましたか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	同じ学級の子 80.6%	同じ学級の生徒 50.9%	同じ学級の生徒 60.1%	同じ学級の子 26.2%
2	上の学年の子 33.2%	違う学級の生徒 26.2%	違う学級の生徒 32.6%	上の学年の子 18.7%
3	違う学級の子 19.2%	上の学年の生徒 9.2%	下の学年の生徒 22.7%	違う学級の子 14.4%
4	下の学年の子 16.9%	下の学年の生徒 8.2%	上の学年の生徒 12.2%	下の学年の子 11.8%
5	その他 11.5%	他校の生徒 3.3%	他校の生徒 6.3%	他校の生徒 10.3%
		その他 13.6%	その他 36.7%	その他 10.7%

1:「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
 2:調査項目2で「ある」と回答した児童生徒数に対する割合

- ・すべての校種において、「同じ学級の子・生徒」にいじめられたと回答した児童生徒が多い。
- ・高等学校においては、「違う学級の生徒」にいじめられた生徒が3割程度、「下の学年の生徒」にいじめられた生徒が2割程度見られる。

調査項目5「いじめられた時、だれに話しましたか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	お父さんやお母さん 65.5%	父や母 68.0%	父や母 50.1%	学校の先生 26.2%
2	学校の先生 48.3%	友人 51.8%	友人 37.6%	父や母 25.7%
3	友だち 36.8%	誰にも話さなかった 45.5%	誰にも話さなかった 35.0%	友だち 23.5%
4	お兄さんやお姉さん 35.6%	学校の先生 30.7%	祖父や祖母 34.9%	誰にも話さなかった 20.9%
5	誰にも話さなかった 28.4%	兄弟姉妹 19.7%	学校の先生 19.7%	お兄さんやお姉さん 18.2%
6	おじいちゃんやおばあちゃん 20.4%	祖父や祖母 3.1%	兄弟姉妹 11.3%	おじいちゃんやおばあちゃん 2.7%
	その他 22.2%	その他 12.1%	その他 18.5%	その他 13.9%

1:「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
 2:調査項目2で「ある」と回答した児童生徒数に対する割合

- ・「いじめられた時、だれに話しましたか」については、すべての校種において、「お父さんやお母さん(父や母)」という回答が上位を占めている。
- ・また、中学校、高等学校では、「友人」という回答も上位を占めている。
- ・一方、すべての校種において、「誰にも話さなかった」という回答も上位を占めている。
- ・小学校では、「学校の先生」と回答した児童が多く見られる。

調査項目6「今も、いじめられていますか」について【「ある」と回答した児童生徒】

調査項目6については、全体の集計作業に先んじて集計を行い、既に公表済みである(下記参照)。その後回答があったものなどを含めて、最終報告において数値を確定することとする。

(速報値)

小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合 計
14,876人	3,188人	2,116人	123人	20,303人
9.7%	4.6%	2.5%	4.9%	6.5%

項目6については、既に各市町村教育委員会及び道立学校に情報提供するとともに、慎重かつ適切な対応を行うよう指導・助言するなどしてきた。情報提供を受けた学校において、どのような対応状況であるかを市町村教育委員会などを通じて把握したところ、次のとおりであった。

	「今もいじめられている」と回答した児童生徒数	対 応 状 況		
		(1)調査実施以前に、当該児童生徒を既に把握し、個別に指導中	(2)調査実施により、当該児童生徒を把握し、個別に指導中	(3)当該児童生徒を把握できないが、現在、学級・クラス(学校・学年)全体で指導中
小学校	14,876人	2,185人 14.7%	1,627人 10.9%	11,064人 74.4%
中学校	3,188人	881人 27.6%	324人 10.2%	1,983人 62.2%
高等学校	2,116人	289人 13.7%	113人 5.3%	1,714人 81.0%
盲・聾・養護学校	123人	16人 13.0%	9人 7.3%	98人 79.7%
合 計	20,303人	3,371人 16.6%	2,073人 10.2%	14,859人 73.2%

調査項目7「今年の4月から今日まで、友だちをいじめたことがありますか」と調査項目8「今もいじめられていますか」について

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合 計
「ある」	24,223人 15.9%	8,600人 12.3%	3,133人 3.7%	70人 2.8%	36,026人 11.6%
「今もいじている」	3,432人 2.2%	1,408人 2.0%	870人 1.0%	12人 0.0%	5,722人 1.8%

- ・「友だちをいじめたことがある」と回答した児童生徒は、小・中学校では10%以上であるが、高等学校では、およそ4%である。
- ・今もいじている児童生徒は、全体でおよそ2%である。

調査項目9「どんないじめをしましたか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	悪口を言った (53.0%)	悪口を言った (66.1%)	悪口を言った (57.5%)	悪口を言った (50.0%)
2	暴力をふるった (37.8%)	無視をした (38.1%)	冷やかし・からかいをした (40.6%)	暴力をふるった (25.0%)
3	仲間はずれにした (29.8%)	仲間はずれにした (35.7%)	無視をした (39.8%)	無視をした (25.0%)
4	無視をした (24.9%)	冷やかし・からかいをした (30.4%)	仲間はずれにした (36.0%)	冷やかし・からかいをした (25.0%)
5	冷やかし・からかいをした (22.9%)	暴力をふるった (19.5%)	暴力をふるった (27.9%)	仲間はずれにした (8.3%)
6	人がやりたくないことをさせた (15.2%)	人がやりたくないことをさせた (14.2%)	持ち物をかくした (20.9%)	人がやりたくないことをさせた (8.3%)
7	持ち物をかくした (10.1%)	持ち物をかくした (12.6%)	人がやりたくないことをさせた (20.6%)	持ち物をかくした (0.0%)
8	わざとおせっかいや親切の押しつけをした (5.8%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをした (9.0%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送った (18.7%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをした (0.0%)
9	心を傷つける内容の電子メールなどを送った (2.4%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送った (7.0%)	わざとおせっかいや親切の押しつけをした (16.7%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送った (0.0%)
	その他 (11.3%)	その他 (12.4%)	その他 (28.6%)	その他 (16.7%)

1:「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
2:調査項目7で「ある」と回答した児童生徒数に対する割合

・「どんないじめをしましたか」については、すべての校種において、「悪口を言った」という回答が最も多い。  
・ほかには、「仲間はずれにした」「冷やかし・からかいをした」「無視をした」という回答などが上位を占めている。  
・小学校においては、「暴力をふるった」という回答が上位を占めている。

調査項目10「今年の4月から今日まで、学校でいじめをみたり、聞いたりしたことがありますか」と調査項目11「そのいじめをやめさせようとはしましたか」について

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
「ある」	63,077人	23,997人	14,850人	125人人	102,049人
	41.3%	34.4%	17.5%	5.0%	32.9%
「注意・相談した」	22,721人	4,070人	1,876人	39人	28,706人
	14.9%	5.8%	2.2%	1.6%	9.3%
「できなかった」	23,819人	10,365人	4,023人	52人	38,259人
	15.6%	14.9%	4.7%	2.1%	12.3%
「何もしなかった」	8,280人	6,356人	1,521人	16人	16,173人
	5.4%	9.1%	1.8%	0.6%	5.2%

1:太線内は、「ある」と回答した児童生徒に対する割合  
2:内訳に回答していない調査用紙があるため、「ある」の数と一致しない。

・校種があがるにつれて、「今年の4月から今日まで、学校でいじめをみたり、聞いたりしたことがある」という回答が減少している。  
・すべての校種において、「注意・相談した」よりも「できなかった」と「何もしなかった」を合わせた回答の方が多かった。

## (2) 教員

調査項目2「今年の4月から、あなたの学校でいじめの事例を認識したことがありますか」について【「ある」と回答した教員】

小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
3,310人	3,261人	3,913人	256人	10,740人
38.9%	58.5%	51.9%	15.9%	46.2%

- ・小学校では、およそ4割の教員が「いじめ」の事例を認識している。
- ・中学校、高等学校では、5割以上の教員が「いじめ」の事例を認識している。

調査項目3「どのようないじめですか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	悪口を言うこと (64.6%)	悪口を言うこと (73.5%)	冷やかし・からかいをすること (65.7%)	悪口を言うこと (53.5%)
2	冷やかし・からかいをすること (54.3%)	冷やかし・からかいをすること (67.5%)	悪口を言うこと (53.6%)	冷やかし・からかいをすること (50.8%)
3	仲間はずれにすること (51.3%)	仲間はずれにすること (57.0%)	仲間はずれにすること (37.8%)	暴力をふるうこと (46.1%)
4	暴力をふるうこと (28.9%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (41.8%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (36.5%)	仲間はずれにすること (33.2%)
5	無視をすること (25.3%)	無視をすること (37.9%)	暴力をふるうこと (29.8%)	持ち物をかくすこと (26.2%)
6	持ち物をかくすこと (23.4%)	暴力をふるうこと (32.0%)	人がやりたくないことをさせること (23.9%)	無視をすること (25.0%)
7	人がやりたくないことをさせること (22.2%)	人がやりたくないことをさせること (29.4%)	持ち物をかくすこと (21.6%)	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (20.7%)
8	心を傷つける内容の電子メールなどを送ること (20.6%)	持ち物をかくすこと (28.2%)	無視をすること (20.9%)	人がやりたくないことをさせること (18.8%)
9	わざとおせっかいや親切を押しつけること (5.8%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (8.2%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (8.4%)	わざとおせっかいや親切を押しつけること (13.3%)
	その他 (22.1%)	その他 (23.9%)	その他 (18.2%)	その他 (19.9%)

「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中

- ・「どのようないじめですか」については、すべての校種において、「悪口を言うこと」「冷やかし・からかいをすること」「仲間はずれにすること」という回答が上位を占めている。
- ・中学校、高等学校において、いじめとして「心を傷つける内容の電子メールなどを送ること」が行われていることを4割程度の教員が認識している。

調査項目4「あなたは、そのいじめをどのようにして認識しましたか」について【複数回答可】

順	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	他の教師からの情報で発見した (40.2%)	他の教師からの情報で発見した (52.6%)	他の教師からの情報で発見した (48.2%)	他の教師からの情報で発見した (48.8%)
2	子どもから相談された (36.9%)	子どもから相談された (46.8%)	子どもから相談された (34.2%)	直接、いじめの現場を見た (47.7%)
3	保護者からの訴えで発見した (34.8%)	いじめられた児童生徒からの訴えで発見した (45.5%)	いじめられた児童生徒からの訴えで発見した (32.5%)	子どもから相談された (33.2%)
4	直接、いじめの現場を見た (34.7%)	直接、いじめの現場を見た (36.4%)	直接、いじめの現場を見た (29.3%)	いじめられた児童生徒からの訴えで発見した (29.3%)
5	いじめられた児童生徒からの訴えで発見した (33.8%)	保護者からの訴えで発見した (31.8%)	他の児童生徒からの訴えで発見した (19.8%)	他の児童生徒からの訴えで発見した (23.0%)
6	他の児童生徒からの訴えで発見した (23.9%)	他の児童生徒からの訴えで発見した (27.8%)	保護者からの訴えで発見した (18.9%)	教育相談機関等からの連絡で発見した (15.2%)
7	教育相談機関等からの連絡で発見した (14.0%)	教育相談機関等からの連絡で発見した (17.5%)	教育相談機関等からの連絡で発見した (11.3%)	保護者からの訴えで発見した (14.8%)
8	スクールカウンセラー、相談員等が発見した (10.1%)	スクールカウンセラー、相談員等が発見した (16.0%)	養護教諭が発見した (10.8%)	スクールカウンセラー、相談員等が発見した (12.5%)
9	養護教諭が発見した (10.0%)	養護教諭が発見した (14.9%)	スクールカウンセラー、相談員等が発見した (10.3%)	養護教諭が発見した (10.5%)
	その他 (17.1%)	その他 (16.9%)	その他 (15.4%)	その他 (18.0%)

「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中

・「あなたは、そのいじめをどのようにして認識しましたか」については、すべての校種において、「他の教師からの情報で発見した」という回答が最も多い。  
 ・また、「子どもから相談された」という回答も上位を占めている。  
 ・「直接、いじめの現場を見た」という回答は、小・中学校、高等学校では3割程度である。  
 ・「保護者からの訴えで発見した」という回答は、小・中学校で3割程度である。

調査項目5「あなたは、そのいじめの解消に向けて対応しましたか」と調査項目7「そのいじめは解決しましたか。継続していますか」について

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
「対応した」	2,808人	2,881人	3,183人	205人	9,077人
	84.8%	88.3%	81.3%	80.1%	84.5%
「解決した」	2,321人	2,280人	2,275人	115人	6,991人
	82.7%	79.1%	71.5%	55.6%	77.0%
「継続している」	46人	65人	69人	8人	188人
	1.6%	2.3%	2.2%	3.9%	2.1%

1：太線内は、「対応した」と回答した教員に対する割合

2：内訳に回答していない調査用紙があるため、「対応した」の数と一致しない。

・「あなたは、そのいじめの解消に向けて対応しましたか」については、すべての校種において、「対応した」という回答が8割を超えている。  
 ・そのうち、「解決した」という回答は小・中学校、高等学校では7～8割程度になっている。  
 ・「継続している」という回答は全体で2%程度になっている。

調査項目 8 「そのいじめの解決のため、どのような関係機関などと連携を図りましたか」について【複数回答可】

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
対応した	2,808人	2,881人	3,183人	205人
	84.8%	88.3%	81.3%	80.1%
1	連携しなかった (21.5%)	連携しなかった (33.4%)	連携しなかった (26.8%)	連携しなかった (5.7%)
2	教育委員会(生涯学習アドバイザーや教育相談員等も含む) (3.0%)	教育委員会(生涯学習アドバイザーや教育相談員等も含む) (6.9%)	市役所・町村役場にある児童福祉課 (1.7%)	児童相談所 (0.6%)
3	市役所・町村役場にある児童福祉課 (2.9%)	市役所・町村役場にある児童福祉課 (6.3%)	教育委員会(生涯学習アドバイザーや教育相談員等も含む) (1.5%)	教育研究所・教育センター (0.4%)
4	教育研究所・教育センター (1.6%)	教育研究所・教育センター (4.2%)	警察署 (1.5%)	教育委員会(生涯学習アドバイザーや教育相談員等も含む) (0.3%)
5	警察署 (1.0%)	警察署 (2.1%)	教育研究所・教育センター (1.1%)	市役所・町村役場にある児童福祉課 (0.2%)
6	児童相談所 (0.7%)	児童相談所 (1.7%)	児童相談所 (0.7%)	警察署 (0.2%)
	その他 (9.7%)	その他 (15.8%)	その他 (12.0%)	その他 (5.0%)

- 1: 「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
2: 上段に調査項目5の「対応した」を再掲

・「そのいじめの解決のため、どのような関係機関などと連携を図りましたか」については、すべての校種において、「連携しなかった」という回答が最も多い。  
・連携を図った関係機関としては、「教育委員会」「市役所・町村役場にある児童福祉課」が上位を占めている。

調査項目 9 「あなたは、なぜ対応しなかったのですか」について【複数回答可】

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
対応しなかった	356人	235人	547人	32人
	10.8%	7.2%	14.0%	12.5%
1	他の学年の子どもだった (2.5%)	他の学年の子どもだった (1.9%)	校内で組織を作り対応したが、自分はその一員ではなかった (3.1%)	他の学級の子もだった (0.6%)
2	校内で組織を作り対応したが、自分はその一員ではなかった (1.7%)	校内で組織を作り対応したが、自分はその一員ではなかった (1.8%)	他の学年の子どもだった (2.2%)	校内で組織を作り対応したが、自分はその一員ではなかった (0.6%)
3	他の学級の子もだった (1.2%)	長期研修で学校にいなかった (1.1%)	対応する前に子どもたち自身で解決したと判断した (1.6%)	他の学年の子どもだった (0.4%)
4	対応する前に子どもたち自身で解決したと判断した (1.2%)	対応する前に子どもたち自身で解決したと判断した (1.1%)	長期研修で学校にいなかった (1.5%)	対応する前に子どもたち自身で解決したと判断した (0.2%)
5	長期研修で学校にいなかった (1.2%)	病気療養で長期欠勤をしていた (1.0%)	他の学級の子もだった (1.3%)	病気療養で長期欠勤をしていた (0.2%)
6	病気療養で長期欠勤をしていた (1.1%)	他の学級の子もだった (1.0%)	病気療養で長期欠勤をしていた (0.9%)	長期研修で学校にいなかった (0.2%)
	その他 (1.1%)	その他 (1.3%)	その他 (1.7%)	その他 (0.6%)

- 1: 「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中  
2: 上段に調査項目5における「対応しなかった」の集計結果を掲示

・「あなたは、なぜ対応しなかったのですか」については、すべての校種において、「他の学年の子どもだった」「校内で組織を作り対応したが、自分はその一員ではなかった」という回答が上位を占めている。



(3) 学校用  
調査項目1「今年の4月から、いじめがありましたか」について【「ある」と回答した学校】

小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
500校	369校	186校	7校	1,062校
43.9%	62.8%	60.4%	21.9%	51.4%

- ・「今年の4月から、いじめがありましたか」については、小学校では4割、中学校、高等学校では6割程度、「ある」と回答した学校が見られる。
- ・全体では、5割程度の学校で「いじめ」が見られる。

調査項目2「いじめは、どのようなきっかけで発見できましたか」について【複数回答可】

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1 担任教師の発見 (57.2%)	他の教師からの情報 (74.8%)	いじめられた生徒からの訴え (58.1%)	スクールカウンセラー、相談員等からの情報 (85.7%)	
2 他の教師からの情報 (52.6%)	担任教師の発見 (62.3%)	他の教師からの情報 (52.7%)	他の教師からの情報 (71.4%)	
3 いじめられた児童からの訴え (48.8%)	スクールカウンセラー、相談員等からの情報 (59.6%)	スクールカウンセラー、相談員等からの情報 (48.4%)	担任教師の発見 (57.1%)	
4 スクールカウンセラー、相談員等からの情報 (40.4%)	いじめられた生徒からの訴え (55.8%)	担任教師の発見 (41.4%)	他の児童生徒からの訴え (28.6%)	
5 他の児童からの訴え (22.4%)	養護教諭からの情報 (32.8%)	他の生徒からの訴え (23.1%)	いじめられた児童生徒からの訴え (14.3%)	
6 養護教諭からの情報 (19.8%)	他の生徒からの訴え (31.7%)	養護教諭からの情報 (23.1%)	養護教諭からの情報 (0.0%)	
7 教育相談機関等からの連絡 (2.0%)	教育相談機関等からの連絡 (6.0%)	教育相談機関等からの連絡 (7.5%)	教育相談機関等からの連絡 (0.0%)	
8 保護者からの訴え (1.6%)	保護者からの訴え (0.3%)	保護者からの訴え (1.6%)	保護者からの訴え (0.0%)	
その他 (8.4%)	その他 (19.0%)	その他 (14.0%)	その他 (14.3%)	

「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中

- ・「いじめは、どのようなきっかけで発見できましたか」については、すべての校種において、「他の教師からの情報」という回答が上位を占めている。
- ・小・中学校、盲・聾・養護学校においては、「担任教師の発見」という回答が上位を占めている。
- ・すべての校種において、「スクールカウンセラー、相談員等からの情報」という回答も多い。

調査項目3「学校としてどのような対応・指導をしましたか」について【複数回答可】

	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校
1	職員会議等を通じて共通理解を図った (85.8%)	職員会議等を通じて共通理解を図った (90.0%)	職員会議等を通じて共通理解を図った (76.3%)	職員会議等を通じて共通理解を図った (57.1%)
2	学校全体として、児童会活動や学級活動などにおいて指導した (76.8%)	学校全体として、生徒会活動や学級活動などにおいて指導した (77.8%)	学校全体として、生徒会活動や学級活動などにおいて指導した (62.9%)	学校全体として、児童・生徒会活動や学級活動などにおいて指導した (42.9%)
3	学級通信などで取り上げ、家庭との協力を図った (47.6%)	教育相談の体制を整備した (60.4%)	学級通信などで取り上げ、家庭との協力を図った (28.5%)	教育相談の体制を整備した (14.3%) 全校的な実態調査を行った (14.3%)
4	教育相談の体制を整備した (42.6%)	学級通信などで取り上げ、家庭との協力を図った (50.7%)	教育相談の体制を整備した (25.8%)	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった (14.3%)
5	全校的な実態調査を行った (33.2%)	全校的な実態調査を行った (44.7%)	全校的な実態調査を行った (18.8%)	
6	家庭や地域と協力して取り組むための協議の場を設けた (31.2%)	家庭や地域と協力して取り組むための協議の場を設けた (32.0%)	養護教諭が指導した (16.7%)	養護教諭が指導した (0.0%) 学級通信などで取り上げ、家庭との協力を図った (0.0%)
7	養護教諭が指導した (12.0%)	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった (24.7%)	家庭や地域と協力して取り組むための協議の場を設けた (15.6%)	家庭や地域と協力して取り組むための協議の場を設けた (0.0%)
8	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった (8.2%)	養護教諭が指導した (23.0%)	スクールカウンセラー、相談員等が相談にあたった (7.5%)	
その他	(29.2%)	(28.5%)	(37.6%)	(57.1%)

「その他」の内容については、記述式のため、現在集計中

・「学校としてどのような対応・指導をしましたか」については、すべての校種において、「職員会議等を通じて共通理解を図った」「学校全体として、児童会活動や学級活動などにおいて指導した」という回答が上位を占めている。  
 ・中学校において、「教育相談の体制を整備した」という回答が6割程度見られる。  
 ・小・中学校において、「全校的な実態調査を行った」という回答が3～4割程度見られる。  
 ・小・中学校、高等学校において、「学級通信などで取り上げ、家庭との協力を図った」という回答も多く見られる。

(4) 教育委員会用  
調査項目1「いじめが発見された場合、日ごろから教育委員会に報告されていますか」について

	教育委員会数	割合
1 報告されている	179	100.0%
2 報告されていない	0	0.0%

・すべての市町村で、万が一、学校でいじめが発見された場合に教育委員会への報告がなされることになっている。

調査項目2「学校で発生したいじめに対し、その後の指導や解消の状況を確認するなど、継続的に対応していますか」について

	教育委員会数	割合
1 対応している	179	100.0%
2 あまり対応していない	0	0.0%
3 対応していない	0	0.0%

・すべての市町村で、いじめへの対応を継続的に行うようにしている。

- 4 今後のスケジュール  
今回の中間報告の全道状況と各学校分のデータを3月中旬を目途に、それぞれ各学校にフィードバックし、各学校における自らの学校の特徴や傾向を分析する際に活用できるようにする。次の内容により集計・分析をするとともに、指導のポイントなどをまとめ、3月下旬を目途に最終報告を公表する予定

**【主な集計・分析内容】**

- ・ 今回の中間報告の多面的な分析
- ・ 学年別集計とその分析
- ・ 複数の調査項目のクロス集計とその分析
- ・ 児童生徒の調査結果と教員の調査結果（例えば、いじめの認識など）の集計とその分析等

なお、今回の中間報告については、3月19日（月）に開催予定の「いじめ・不登校等対策本部会議」などにおいて、協議する予定。

資料

いじめに関する実態等調査（中間報告）について

学校安全・健康課

「1 調査用紙の配付・回収状況」の管内別内訳

(1) 児童生徒の調査用紙の配付・回収状況

小学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	25,960	18,904	72.8%
渡島	22,162	18,088	81.6%
檜山	2,280	1,996	87.5%
後志	11,551	9,015	78.0%
空知	17,321	13,859	80.0%
上川	26,851	20,994	78.2%
留萌	2,848	2,411	84.7%
宗谷	3,663	3,271	89.3%
網走	16,921	12,489	73.8%
胆振	21,408	18,190	85.0%
日高	4,392	3,578	81.5%
十勝	20,392	14,930	73.2%
釧路	13,569	10,905	80.4%
根室	5,066	4,119	81.3%
合計	194,384	152,749	78.6%

中学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	13,658	8,847	64.8%
渡島	11,459	7,852	68.5%
檜山	1,295	1,104	85.3%
後志	6,090	3,843	63.1%
空知	9,610	6,875	71.5%
上川	14,112	8,379	59.4%
留萌	1,568	1,376	87.8%
宗谷	2,164	1,819	84.1%
網走	9,054	5,427	59.9%
胆振	11,477	8,731	76.1%
日高	2,340	1,407	60.1%
十勝	10,688	6,894	64.5%
釧路	7,117	5,149	72.3%
根室	2,680	2,033	75.9%
合計	103,312	69,736	67.5%

高等学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	41,530	27,481	66.2%
渡島	8,199	6,007	73.3%
檜山	962	950	98.8%
後志	5,196	4,173	80.3%
空知	9,440	6,405	67.8%
上川	10,905	8,746	80.2%
留萌	1,459	1,137	77.9%
宗谷	1,610	1,429	88.8%
網走	8,427	6,854	81.3%
胆振	8,871	7,185	81.0%
日高	1,759	1,459	82.9%
十勝	8,090	6,693	82.7%
釧路	7,060	5,235	74.2%
根室	2,460	1,536	62.4%
合計	115,968	85,290	73.5%

盲・聾・養護学校

	配付数	回収数	回収率
道央	2,461	1,550	63.0%
道南	332	186	56.0%
道北	550	325	59.1%
オホーツク	208	111	53.4%
十勝	279	144	51.6%
根釧	272	172	63.2%
合計	4,102	2,488	60.7%

<参考>平成18年5月1日現在の児童生徒数

校種	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
児童生徒数	195,662人	103,733人	118,869人	4,066人	422,330人

(2) 教員用の調査用紙の配付・回収状況

小学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	1,370	1,028	75.0%
渡島	1,380	896	64.9%
檜山	280	255	91.1%
後志	858	458	53.4%
空知	1,234	999	81.0%
上川	1,842	926	50.3%
留萌	283	212	74.9%
宗谷	422	404	95.7%
網走	1,251	550	44.0%
胆振	1,272	993	78.1%
日高	403	139	34.5%
十勝	1,406	501	35.6%
釧路	938	775	82.6%
根室	438	363	82.9%
合計	13,377	8,499	63.5%

中学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	912	673	73.8%
渡島	837	534	63.8%
檜山	168	145	86.3%
後志	522	249	47.7%
空知	849	682	80.3%
上川	1,158	587	50.7%
留萌	220	208	94.5%
宗谷	323	290	89.8%
網走	770	334	43.4%
胆振	865	666	77.0%
日高	240	93	38.8%
十勝	878	344	39.2%
釧路	620	492	79.4%
根室	332	275	82.8%
合計	8,694	5,572	64.1%

高等学校

	配付数	回収数	回収率
石狩	2,573	1,882	73.1%
渡島	739	495	67.0%
檜山	123	119	96.7%
後志	515	456	88.5%
空知	859	673	78.3%
上川	945	794	84.0%
留萌	177	141	79.7%
宗谷	187	177	94.7%
網走	782	688	88.0%
胆振	777	688	88.5%
日高	171	166	97.1%
十勝	675	584	86.5%
釧路	600	499	83.2%
根室	217	173	79.7%
合計	9,340	7,535	80.7%

盲・聾・養護学校

	配付数	回収数	回収率
道央	1,571	885	56.3%
道南	322	143	44.4%
道北	377	251	66.6%
オホーツク	189	163	86.2%
十勝	173	82	47.4%
根釧	170	102	60.0%
合計	2,802	1,626	58.0%

<参考>平成18年5月1日現在の教員数(校長を除く)

校種	小学校	中学校	高等学校	盲・聾・養護学校	合計
教員数	13,997人	8,987人	9,367人	2,782人	35,133人

(3) 学校用の調査用紙の配付・回収状況

・小学校1,138校(分校含む)、中学校588校(分校含む)、高等学校(全日制・定時制・通信制)308校、盲・聾・養護学校(分校含む)56校の合計2,090校に配付し、2,090校分を回収(回収率100%)

(4) 教育委員会用の調査用紙の配付・回収状況

・179市町村に配付し、179市町村分を回収(回収率100%)